

令和 8 年 3 月 24 日

**第 34 回ペスタロッチャー教育賞
表彰式・記念講演を開催します**

広島大学教育学部とペスタロッチャー教育賞実行委員会は、優れた教育実践を行っている個人・団体を顕彰する第 34 回ペスタロッチャー教育賞の表彰式及び記念講演を令和 8 年 5 月 28 日（木）に東広島キャンパスで開催します。

記

受賞者：杉 良太郎 氏（すぎ りょうたろう）
（歌手・俳優 法務省特別矯正監・厚生労働省特別健康対策監・
警察庁特別防犯対策監）

表彰式・記念講演

日 時：令和 8 年 5 月 28 日（木）12:50～14:20
表彰式 12:50～、記念講演 13:20～

場 所：広島大学教育学部 L205 講義室
（東広島市鏡山一丁目 1 番 1 号）

主催：広島大学教育学部、ペスタロッチャー教育賞実行委員会
後援：株式会社もみじ銀行、株式会社中国新聞社

プログラム：

- ・主催者挨拶
ペスタロッチャー教育賞実行委員会委員長（広島大学長）越智光夫
- ・祝 辞
株式会社もみじ銀行取締役会長 小田宏史氏
- ・表彰状授与及び胸像贈呈
ペスタロッチャー教育賞実行委員会委員長（広島大学長）越智光夫
- ・記念品贈呈
株式会社中国新聞社代表取締役社長 岡島鉄也氏
- ・記念講演
杉 良太郎 氏（すぎ りょうたろう）
（歌手・俳優 法務省特別矯正監・厚生労働省特別健康対策監・
警察庁特別防犯対策監）

※これまでの受賞者一覧等は、本学ホームページをご覧ください。

https://www.hiroshima-u.ac.jp/ed/about/ed_tokusyoku/pestalozzi

【お問い合わせ先】

広島大学教育学部内

ペスタロッチー教育賞実行委員会事務局 西木

Tel : 082-424-7190 FAX : 082-424-3478

E-mail : ed-ken-zai@hiroshima-u.ac.jp

第34回パスタロッチー教育賞表彰式及び記念講演

日 時 令和8年5月28日（木）12:50～14:20
表 彰 式 12:50～
記 念 講 演 13:20～

場 所 広島大学教育学部 L205 講義室
（東広島市鏡山一丁目1番1号）

主 催 広島大学教育学部、パスタロッチー教育賞実行委員会

後 援 株式会社もみじ銀行、株式会社中国新聞社

受 賞 者 杉 良太郎 氏（すぎ りょうたろう）
（歌手・俳優 法務省特別矯正監・厚生労働省特別健康対策監・警察庁特別防犯対策監）

プログラム

1 開会の辞

2 主催者挨拶

パスタロッチー教育賞実行委員会委員長（広島大学長） 越 智 光 夫

3 祝辞

株式会社もみじ銀行取締役会長 小 田 宏 史

4 表彰状授与及び胸像贈呈

パスタロッチー教育賞実行委員会委員長（広島大学長） 越 智 光 夫

5 記念品贈呈

株式会社中国新聞社代表取締役社長 岡 畠 鉄 也

6 記念講演

杉 良太郎 氏（すぎ りょうたろう）
（歌手・俳優 法務省特別矯正監・厚生労働省特別健康対策監・警察庁特別防犯対策監）

7 閉会の辞

【お問い合わせ先】

広島大学教育学部内

パスタロッチー教育賞実行委員会事務局 西木

TEL：(082) 424-7190

E-mail：ed-ken-zai@office.hiroshima-u.ac.jp



広島大学

受賞者

杉 良太郎 氏 (すぎ りょうたろう)

(歌手・俳優 法務省特別矯正監・厚生労働省特別健康対策監・警察庁特別防犯対策監)





広島大学

第34回 ペスタロッチー教育賞 表彰式・記念講演

日時 令和8年5月28日(木) 12:50~14:20

12:50~ 表彰式 13:20~ 記念講演

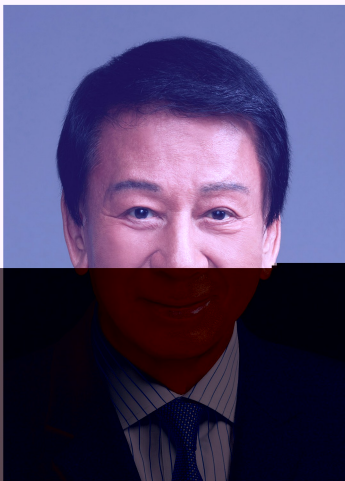
会場 広島大学教育学部 L205講義室

参加の
お申し込み

QRコードまたはURLをご利用ください

申込期限:5月25日(月)

※定員になり次第締め切り <https://x.gd/JUpco>



すぎ りょうたろう
杉 良太郎 氏

歌手・俳優

法務省特別矯正監・厚生労働省特別健康対策監・警察庁特別防犯対策監

昭和40年, コロンビアレコードより歌手デビュー。

昭和42年, NHK「文五捕物絵図」の主演で脚光を浴び、その後, 1,400本以上に主演。舞台活動にも邁進し, 平成21年紫綬褒章を受ける。

デビュー前より福祉活動を献身的に続け, 平成20年芸能人初の緑綬褒章を受ける。平成28年度文化功労者。現在は法務省特別矯正監, 厚生労働省特別健康対策監, 警察庁特別防犯対策監をいずれも任期なしの永久委嘱されている。

ヨハン・ハインリヒ・ペスタロッチー (1746年~1827年)



Johann Heinrich Pestalozzi

スイスの教育家・教育思想家。教育の機会を与えられていなかった孤児や貧困家庭の子どもを対象に、「頭と心と手」の全人的教育の重要性を唱え、自ら学校を開いて、その有効性を世に示した。著書「隠者の夕暮」他

ペスタロッチー教育賞

広島大学教育学部では、株式会社もみじ銀行、株式会社中国新聞社の支援を得て、今日、我が国の極めて困難な教育状況の中で、優れた教育実践を行っている個人あるいは団体を顕彰するため、1992年に「ペスタロッチー教育賞」を創設しました。本賞は、ペスタロッチー精神に通じた教育実践を行っている個人あるいは団体に光を当て、その功績を顕彰することにより、もって現代の教育を見つめ直すきっかけとなることを期するものです。

お問い合わせ先

広島大学教育学部内 ペスタロッチー教育賞実行委員会事務局

✉ ed-ken-zai@office.hiroshima-u.ac.jp ☎082-424-7190

主催 広島大学教育学部 ペスタロッチー教育賞実行委員会
後援 株式会社もみじ銀行 株式会社中国新聞社

【第34回ペスタロッチー教育賞受賞者紹介文】

第34回ペスタロッチー教育賞受賞者に、杉 良太郎（すぎ りょうたろう）氏が選ばれましたので発表いたします。

【第34回ペスタロッチー教育賞 受賞者】

杉 良太郎（すぎ りょうたろう）

（歌手・俳優 法務省特別矯正監・厚生労働省特別健康対策監・警察庁特別防犯対策監）

【略歴】

杉氏は1944年8月14日、兵庫県神戸市に生まれる。歌手・俳優として活動する一方、デビュー前から長年にわたり福祉活動にも取り組んできた。全国の刑務所での講演や視察にはじまり、国内外で様々な人道的支援を行っており、特にベトナムでの活動は長く、現在は245人の里親。教育施設への援助など、継続的な社会貢献活動は各方面から高く評価され、ユネスコ識字特使兼親善大使、日・ASEAN特別大使、日本とベトナム両国の特別大使を歴任。現在は法務省、厚生労働省、警察庁から特別任務を受けている。見返りを求めず他者に身を捧げる姿勢は、著書『生涯献身』（徳間書店、2025年）にまとめられている。2008年緑綬褒章、2009年紫綬褒章を受章。2016年には文化功労者に選出された。

【授賞理由】

杉氏は、長年にわたる刑務所慰問活動を通じて、法務省・特別矯正監、厚生労働省・特別健康対策監、警察庁・特別防犯対策監に永久委嘱される一方、ベトナムやバングラデシュをはじめとするアジア諸国から、アメリカ、ブラジルなど様々な国において、孤児や障がいのある人々への支援を地道に積み重ねてきた。今回の受賞は、こうした継続的かつ実践的な社会貢献活動が高く評価されたものである。

時代劇を中心とする俳優活動および歌手活動で大きな成功を収めた杉氏であるが、福祉活動はデビュー前から生涯を通じた取り組みである。刑務所や施設慰問、ベトナムでの里子支援や教育施設援助など多岐にわたる活動を展開してきた。最近では拘禁刑の施行にともない、自らの経験をもとに保護犬の世話を通じて受刑者の自立を促す矯正教育のあり方を提言。また、チャリティ公演を契機に始まったベトナムでの支援では、盲学校支援など障がいのある子どもたちへの医療支援や、山岳地帯で通学困難な子どもたちへの教育支援に取り組むなど、自らを省みない「献身」の姿勢を貫いている。

杉氏は「献身」を「頑張る、頑張る、苦しんで、苦しんで、のたうちまわって、やっと相手に喜んでもらえる」と語り、その実践を通じて常に自己を問い直してきた。チャリティーコンサートで訪れたベトナムでは、差別を受けるハンセン病患者へ手を差し伸べながらも「もっとできたことはないか」と自問し続けたという。熊本県での慰問活動においても、自らの活動の在り方を問い直し、療養所で「遠山の金さん」の舞台を上演するため試行錯誤を繰り返した。手の不自由な観衆が身体をぶつけ合いながら拍手で応えた光景を、杉氏は「真実の拍手」と語っている。

ときに「偽善」との批判を受けながらも、杉氏は福祉を見返りを求めない一方通行の営みと捉え、草の根の慈善活動を国内外へと広げてきた。私財を投じながら社会の周縁に置かれた子どもたちや人々に寄り添い続けるその歩みは、孤児や貧困児の救済と教育に生涯をかけて尽くしたペスタロッチーの理念と実践に通じるものである。以上の功績により、第34回ペスタロッチー教育賞を贈呈し、その類まれな業績を顕彰したい。

ペスタロッチー教育賞 歴代受賞者

	表彰式実施年度		個人・団体		備考
	(西暦)	(和暦)	教育賞	特別賞	
第1回	1992	H4	宮城 まり子		
第2回	1993	H5	谷 昌恒		
第3回	1994	H6	児玉 三夫		
第4回	1995	H7	山田 洋次		
第5回	1996	H8	NHK名古屋放送局テレビ番組「中学生日記」制作スタッフ		
第6回	1997	H9	本吉 修二		
第7回	1998	H10	黒柳 徹子		
第8回	1999	H11	社会福祉法人広島新生学園		
第9回	2000	H12	丸木 政臣		
第10回	2001	H13	佐野 浅夫		
第11回	2002	H14	社会福祉法人似島学園		
第12回	2003	H15	九里 茂三		
第13回	2004	H16	中野 光		
第14回	2005	H17	アグネス・チャン		
第15回	2006	H18	津守 眞		
第16回	2007	H19	昇地 三郎		
第17回	2008	H20	松田 実		
第18回	2009	H21	西谷 英雄		
第19回	2010	H22	金森 俊朗		
第20回	2011	H23	高谷 清	あしなが育英会	※1
第21回	2012	H24	一般社団法人「実践人の家」		
第22回	2013	H25	奥地 圭子		
第23回	2014	H26	水谷 修		
第24回	2015	H27	渡辺 和子		
第25回	2016	H28	湊 晶子		
第26回	2017	H29	中本 忠子		
第27回	2018	H30	和田 晋、児童養護施設舞鶴学園		※2
第28回	2019	R1	大石 由紀子		
第29回	2020	R2	村井 実		
第30回	2022	R4	MISIA		※3
第31回	2022	R4	北川 聡子		
第32回	2023	R5	特定非営利活動法人 学習障害児・者の教育と自立の保障をすすめる会 見晴台学園		
第33回	2024	R6	森下 弘		
第34回	2026	R8	杉 良太郎		

※1 第20回を記念し、「教育賞」に加え「特別賞」も授与。

※2 1個人と1団体に「教育賞」を授与。

※3 コロナ禍のため2021年度ではなく、2022年度に実施。